

# 平成27年度（第25年度）事業報告書

（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

## I. 庶務の概要

### 1. 庶務事項

#### (1) 会議の開催状況

年 月 日	名 称	主な決議・協議内容
H27. 5. 1	第142回 運営委員会	助成金の審査18件
5. 1 4	監事監査	
5. 2 1	第1回 農地集積推進委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成26年度農地中間管理事業の事業報告</li><li>・平成27年度農地中間管理事業の事業計画等</li></ul>
6. 2	第17回 定例理事会	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成26年度事業報告書・決算諸表</li><li>・職員就業規程の変更</li><li>・第8回定時評議員会招集</li></ul>
6. 3	評価委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成26年度農地中間管理事業の事業報告</li><li>・平成26年度農地中間管理事業の評価</li><li>・平成27年度農地中間管理事業の実施計画</li></ul>
6. 2 3	第8回 定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成26年度決算諸表</li><li>・評議員の補欠選任</li><li>・理事の選任</li></ul>
6. 2 9	第18回 臨時理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"><li>・理事長、副理事長選任</li><li>・平成27年度補正予算承認</li></ul>

年 月 日	名 称	主な決議・協議内容
H 2 7 . 7 . 3 0	第143回 運営委員会	助成金の審査 21件
8 . 1 8	第19回 臨時理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産の管理方法</li> <li>・平成27年度農地中間管理事業の活動方針</li> </ul>
1 1 . 4	第144回 運営委員会 (書面審査)	助成金の審査 4件
1 2 . 1 4	第20回 臨時理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバー制度運用のための「特定個人情報取扱規程の制定」</li> <li>・マイナンバー制度実施に伴う「職員就業規程の変更」</li> </ul>
H 2 8 . 2 . 1	第145回 運営委員会 (書面審査)	助成金の審査 2件
3 . 1	第21回 定例理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規程、要領等の制定・変更</li> <li>・平成28年度事業計画、収支予算承認</li> <li>・資産の管理方法</li> </ul>
3 . 2 4	第2回 農地集積推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度農地中間管理事業の活動方針</li> <li>・農地中間管理事業推進の強化策</li> </ul>
3 . 3 1	第22回 臨時理事会 (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局長の選任</li> </ul>

(2) 農業振興功労者表彰事業

年 月 日	事 項
H 2 7 . 9 . 3 0	愛知農業賞審査委員会
1 2 . 1 4	愛知農業賞表彰式

## 2. 登記に関する事項（名古屋法務局）

年 月 日	登 記 事 項
H 2 7 . 4 . 1	評議員中野幹也の辞任に伴う辞任登記
H 2 7 . 6 . 3 0	評議員加藤正人の就任登記 理事久野伸の辞任に伴う辞任登記 代表理事可知祐一郎の就任登記、理事鈴木才将の就任登記

## 3. 県庁への報告等に関する事項（愛知県）

### (1) 公益法人報告関係

年 月 日	報 告 等 事 項
H 2 7 . 4 . 2 3	定款変更（就農支援事業削除）（電子申請） 評議員の変更報告
6 . 2 5	事業報告等に係る提出書（電子申請）
7 . 1 3	理事長の変更報告（電子申請）
H 2 8 . 3 . 1 8	事業計画書等に係る提出書（電子申請）

## 4. 役員等に関する事項

### (1) 評 議 員（6名）

平成28年3月31日

氏 名	現 職 名
稲 垣 隆 司	岐阜薬科大学 学長
加 藤 正 人	愛知県農林水産部 部長
吉 田 濱 一	愛知県農業協同組合中央会 会長
大 羽 和 子	元中部大学 教授
小 池 くるみ	日本チェーンストア協会 中部支部参与
渡 会 健治郎	愛知県農業経営士協会 会長

## (2) 役員（理事 6名、監事 2名）

平成28年3月31日

役職名	氏名	現職名
理事長	可知 祐一郎	学識経験者
副理事長	井上 庄吾	愛知県農業協同組合中央会 専務理事
理事	上原 正子	愛知みずほ大学 短期大学部教授
理事	鈴木 才将	愛知県農林水産部 技監
理事	向井 清史	名古屋市立大学大学院 経済研究科 特任教授
理事	吉田 豊	東海地域生物系先端技術研究会 副理事長
監事	天野 義人	愛知県信用農業協同組合連合会 常勤監事
監事	安形 昭彦	愛知県経済農業協同組合連合会 常勤監事

## (3) 運営委員（6名）

平成28年3月31日

氏名	現職名
秋元 浩一	名古屋学院大学 商学部教授
大石 一史	東海地域生物系先端技術研究会 コーディネーター
金沢 輝芳	愛知県農林水産部 農林政策課 主幹
金原 節子	元 愛知県農業大学 副校長
堤 英祐	生活協同組合コープあいち 商品活動推進統括部 部長
中野 隆	愛知県食品産業協議会 事務局次長

## (4) 表彰審査委員（5名）

平成28年3月31日

氏名	現職名
加藤 勇二	愛知県農業協同組合中央会 常務理事
竹谷 裕之	国立大学法人名古屋大学 名誉教授
向井 忍	生活協同組合コープあいち 参与
百瀬 則子	ユニー株式会社執行役員 環境社会貢献部 部長
濱田 千裕	愛知県農業総合試験場 場長

## (5) 職 員 (8名)

平成28年3月31日

職 名	氏 名	現 職 名
事 務 局 長	土 方 茂	愛知県経済農業協同組合連合会
業 務 課 長	鈴 木 茂 裕	愛知県農業協同組合中央会
庶 務	村 瀬 春 美	
農地集積推進部長	都 築 敏 也	愛知県農業協同組合中央会
農地第一課長	森 義 男	
農地第二課長	山 口 政 司	
農地第三課長	石 黒 弘	
農地第四課長	伊 奈 学	

## II. 事業の概要

愛知県農業の永続的な発展と魅力ある地域社会の形成に向け、以下の事業を実施した。農業環境整備では、県民の農業への理解促進を図るとともに、後継者の育成及び活力ある農村基盤の形成を図った。農業生産振興では、生産振興に対する活動、安全で良質な農産物の生産を進めるための営農技術の開発・普及、園芸優良種苗の供給、マイナー作物の農薬登録拡大のための調査分析、農業者の創意工夫を活かした取組等を実施した。また、農用地の利用の効率化及び高度化を推進するため農地集積推進事業に取り組んだ。

### 1. 助成事業

#### (1) 農業・農村調査研究事業

①愛知県中央会と愛知県農業総合試験場、愛知県経済農業協同組合連合会がタイアップして、施設園芸における高度な環境制御技術の速やかで効果的な導入・普及を図るうえで、環境制御技術・機器の選定や環境制御に係る課題を明らかにし、優良事例調査を経て高度環境制御技術の導入手順及び経営試算モデルを整理・資料化した事業に対して1,835,000円を助成した。

#### (2) 農業理解促進事業

①名古屋コーチン協会が実施した、名古屋コーチンの歴史や伝統、鶏肉・鶏卵の特徴、美味しさ等を紹介したポスター・リーフレットを作成・配布した事業に対して555,000円を助成した。

②愛知県花き温室園芸組合連合会が実施した、花辞典の作成、イベント等での配布によるあいちの鉢物をPRした事業に対して933,000円を助成した。

③愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、一般消費者（親子）の田植（6か所）・稲作（2ヶ所）等農作業体験や地産地消・食育の講義により愛知県産米の理解を促進するためのイベント「おコメ実らせ隊2015」の事業に対して1,818,000円を助成した。

④愛知県農業協同組合中央会が学校教育の中で愛知県農業に対する理解を深めるために県内の全小学5年生を対象とした農業教育用資料「愛知の農業」を作成し、80,000部を配布した。また、この教材の有効活用のための教師用指導書3,200部を作成し、併せて全小学校に配布した。この事業2件に対して助成金3,800,000円を助成した。

### (3) 食育推進事業

- ①愛知県経済農業協同組合連合会が実施したキャベツの収穫体験、お好み焼き教室の開催によるキャベツへの関心を高める事業に対して46,000円を助成した。
- ②愛知県花き温室園芸組合連合会が実施した、県内各地での地元親子に対する花きの紹介・フラワーアレンジメント・寄せ植え教室の開催による花きへの関心を高める事業に対して468,000円を助成した。

### (4) 後継者育成活動

- ①愛知県青年農業士協議会等の会員が行う各種研修会・先進地視察研修等、県下各地から9件の申請があり、合計1,193,000円を助成した。内容は次のとおり。

農業経営士名等	金額(円)	助成内容
愛知県4Hクラブ 連絡協議会	247,000	先進地視察研修(秋田県)
田原市4Hクラブ 連絡協議会	141,000	先進地視察研修(千葉県)
西三河青年農業士会	102,000	先進地視察研修(石川県)
豊橋市青年農業士会	100,000	先進地視察研修(京都府、大阪府)
蒲郡市青年農業士 連絡協議会	125,000	先進地視察研修(福岡県)
海部青年農業士の会	85,000	先進地視察研修(東京都)
尾張青年農業士会	228,000	先進地視察研修(福岡県)
知多青年農業士会	72,000	先進地視察研修(新潟県)
尾張一宮4Hクラブ	93,000	先進地視察研修(岡山県)
計9組織	1,193,000	

### (5) 安全良質農産物安定供給事業

- ①愛知県経済農業協同組合連合会営農支援センターが実施した、新品種、新技術の栽培展示(施設:32件、露地:1件)と関連情報の収集、農業器資材の適合性に関する調査、および情報誌「ASC」の発行(No.177、178、179)計8,600部に要した経費に対して20,151,000円を助成した。
- ②愛知県農業生産振興協議会が実施した、水田におけるキャベツ産地振興、省力化・規模拡大・計画出荷による小菊の生産振興、たまねぎ栽培の機械化の3件の取組に対して合計295,000円を助成した。
- ③愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、県下と畜場の衛生度向上と消費者に

対する安全性の担保を高めるための枝肉の抗生物質・細菌検査および美味しさを確認するための脂肪酸分析の取組に対して1,107,000円を助成した。

- ④愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、産地の維持・発展を目的としたマイナー作物等の農薬登録試験にかかる産地での栽培管理経費に対して1,395,000円を助成した。
- ⑤愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、米のトータル生産コスト低減対策に係る土壌診断・施肥改善について県下の水田面積29,332haにおいて2,736点の土壌診断に対して982,000円を助成した。
- ⑥愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、農業生産段階で食品安全全般に関して対策すべき管理項目を取り入れた食品安全チェックシートを作成・普及させるための啓蒙用リーフレットの作成に対して539,000円を助成した。

#### (6) 園芸優良種苗供給事業

- ①愛知県園芸振興基金協会が実施した、優良種苗（いちご、じねんじょ、ふき）の生産供給、生産指導の経費に対して9,000,000円を助成した。

#### (7) 新農業ビジネスモデル推進事業

- ①IFEX2015出展あいち実行委員会が実施した、第12回国際フラワーEXPOに対する出展経費に対して594,000円を助成した。

#### (8) 生産者の思いを伝える農業推進事業

- ①名古屋コーチン協会が実施した、名古屋市内での各種イベントにおける試食・ポスター作成・交流会の実施・名古屋コーチンもりあげ隊（大学生）によるPR活動に対して505,000円を助成した。
- ②愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、花の新たな物日づくり「パートナーズデイ」（豊橋駅構内でのモニュメント、東山植物園イベント、大手卸と連携した小売店向けPR活動、ラジオ（FM）でのPR展開等の取組に対して868,000円を助成した。
- ③東三河茶友の会が実施した、試飲・無料サンプル配布・茶クイズ・アンケート、ドームやきものワールド2015での消費宣伝活動、豊橋茶の淹れ方教室の開催を行い、東三河のお茶の良さをPRする取組に対して合計160,000円を助成した。
- ④TDC豊橋が実施した、豊橋市内のイベントにおいて豊橋の紅茶緑茶のPR活動の取組に対して328,000円を助成した。



- ⑤愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、関東における愛知の青果物（イチジク、大葉、フキ、キャベツ、スナップえんどう）の食育・PR活動に対して362,000円を助成した。
- ⑥愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、野菜摂取量の増加を促す啓発活動（たまねぎ、ナス、きゅうり）のポスター・リーフレット、簡易レシピの作成に対して880,000円を助成した。
- ⑦蟹江町鉢物部会が実施した、香港特別行政区で行った鉢物の輸出ルートの確保と輸出量の増加への取組に対して547,000円を助成した。
- ⑧愛知県農業協同組合中央会が実施した、JAあいちビルのエントランスに「今月のあいちの花」を展示し、来訪者・一般通行人に対しての愛知の花をPRする取組に対して44,000円を助成した。
- ⑨愛知県養鶏協会が実施した、たまごの料理レシピの作成と「たまニコ2015愛知大会」における県内産卵をPRする取組に対して481,000円を助成した。
- ⑩愛知県花き温室園芸組合連合会が実施した、第32回全国都市緑化あいちフェアにおいて、来場者に苔玉づくりの体験や多くの鉢花の展示等により消費者へ愛知県産花きをPRする取組に対して、120,000円を助成した。
- ⑪AFP（海部地域の花き若手生産者で構成）が実施した、九州地区のイベントに出展し、鉢物の出荷先を開拓し将来の販路拡大を図る取組に対して219,000円を助成した。
- ⑫愛知県農業協同組合中央会が実施した、久屋大通公園内に県内農畜産物の加工品の試食提供と料理教室による愛知県産農畜産物をPRする取組に対して1,000,000円を助成した。
- ⑬愛知県茶業連合会が実施した、常滑での第3回急須の里めぐりとドームやきものワールド2015に出展し、手もみ茶実演・試飲および来訪者への説明によるPR活動の取組に対して227,000円を助成した。
- ⑭碧海農業フェスティバル実行委員会が実施した、碧海農業フェスティバル2015において、農産物加工・試食、農業クイズ、農産物の展示など消費者との交流会等を通じて農業理解の促進と安全な農産物の消費拡大を図る取組に対して65,000円を助成した。
- ⑮稲沢きらくの郷が実施した、「里いも掘り、いも煮会、農産物栽培見学」（遊休農地で栽培した里いも掘りの農業体験、いも煮を食べながらの農業者・消費者との交流会、ハウス内のバナナ・マンゴーやもも・さくらんぼ等の果樹栽培の見学会による農業理解促進）の取組に対して31,000円を助成した。

- ⑩愛知県経済農業協同組合連合会が実施した、「あいちの農畜産物ファン感謝祭」  
 (パールライス安城工場で開催、一般消費者約4,000名来場：農畜産物の試食・  
 販売、施設見学、食育活動等の実施による愛知県産農畜産物の総合フェア)にお  
 けるイベントガイドブックの制作費に対して151,000円を助成した。
- ⑪愛知県農業協同組合中央会が実施した、「ふるさとの食につぼんの食全国フェス  
 ティバルにおいて愛知県産農畜産物(みかわポーク)のPRの取組に対して  
 89,000円を助成した。

### (9) 助成事業における課題

平成27年度の交付申請件数は44件となり、前年度より23件減少した。  
 交付決定額に対し、減額申請された案件については参加人員の減少や予定イベント  
 の中止によるものが大半であるが、申請内容に助成対象外費用が含まれるものもあ  
 った(申請金額 54,205千円、実績金額50,788千円 差3,417千円)。  
 事業の進捗管理の徹底指導および申請書(計画数値・助成対象内容)の精査が必要  
 である。

助成金の種類	申請件数 (件)	助成実績金額 (円)
農業・農村調査研究事業助成金	1	1,835,000
農業理解促進事業助成金	5	7,106,000
食育推進事業助成金	2	514,000
後継者育成活動助成金	9	1,193,000
安全良質農産物安定供給事業助成金	8	24,469,000
園芸優良種苗供給事業助成金	1	9,000,000
新農業ビジネスモデル推進事業助成金	1	594,000
生産者の思いを伝える農業推進事業助成金	17	6,077,000
計	44	50,788,000

## 2. 功労者表彰事業

愛知県農業・農村の振興に尽力し、その功績が顕著で他の模範になるものを表彰  
 することにより、後続くものが自信と誇りをもってその振興に取り組むことを  
 助長し、もって本県の農業・農村の発展に資することを目的として、昨年を引き  
 続き、農業振興功労者表彰事業「愛知農業賞(あいちアグリアワード)」を実  
 施した。

① 候補者の推薦

平成27年6月に県関係機関、市町村、農業団体等に推薦を依頼し、募集したところ、担い手育成部門について個人2名、技術改善部門について個人1名、農業・農村振興部門について1法人の推薦があった。

② 選考

平成27年9月30日開催の審査委員会において慎重に審議され、推薦内容の詳細確認手続き等を経たうえで、担い手育成部門1名、技術改善部門1名、農業・農村振興部門1法人の候補者を選考した。

③ 表彰

平成27年12月14日、JAあいちビルにおいて、農業者、関係者49名の出席を得て表彰式を開催し、担い手育成部門の坂本俊光氏、技術改善部門の富田孝氏、農業・農村振興部門の木曾川町玉葱採種組合に対して理事長より表彰状並びに副賞を授与した。

表彰式終了後、受賞者各氏より受賞内容についての体験発表を行った。

### 3. 農地集積推進事業

#### (1) 農地中間管理事業

- ① 農地中間管理事業の周知活動として出し手・借り手（担い手）を対象とした説明会に71回出席し、事業の仕組み等を説明した（参加者延べ2,095名）。また、日本農業新聞、中日新聞に広告を掲載し、事業の仕組み等の周知に努めた。
- ② 26年度の農地中間管理事業の実施状況を評価するため農地中間管理事業評価委員会を開催し、その結果を機構のホームページ(以下 HP)に公表した。（開催：6/3、公表：6/29）
- ③ 農地中間管理事業の必要性等の理解を深めるため、市町村長に対し理事長によるトップセールスを5市町で実施するとともに、HPに理事長からのメッセージを掲載した。また、現場における担当者等を対象とした会議・研修会等で47回説明した（参加者延べ2,384名）。

（主な会議）

- ・農地中間管理事業推進員会議（7/16 34名）
- ・農地中間管理事業コーディネーター等研修会（9/18 55名）

- ④ 農地中間管理事業を円滑に推進するため、関係機関等との連携・調整を行うとともに、会議・研修会等に 71 回参加し、情報共有に努めた（参加者延べ 1,824 名）。また、27 年度より発生した借賃の納入・支払いについて、業務委託 J A 等と協議を重ね適切な事務処理に努めた(20 回、参加者延べ 91 名)。
- ⑤ 農地中間管理事業の借受希望者公募は、51 市町村で 6 月、9 月、1 月に実施し、731 名からの応募があり HP で公表した。この結果、出し手 1,280 名の農地 513.0 ha を担い手延べ 277 名に貸付けた。また、担い手等との意見交換結果を HP で公表した。

## (2) 農業経営基盤強化促進法の特例事業

- ① 4月1日に、愛知県から県有農地1筆（4,909m<sup>2</sup> 32,103千円）を取得し、7月9日に、買受申込農家へ売却した。
- ② 農地取得資金は、4月1日に、愛知県から無利息で借り受け、平成28年3月31日に、約定どおり返済した。